(1)

2

(3)

4

5

(6)

7

(8)

9

10

お

知

6

せ

1

2

3

(4)

5

(6)

振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918 前澤 発 行 人編集主筆 印 刷 所 竹竹 知代志 株式会社きかんし

第3

開催された。 録の件』について、西澤宏 論があった。『濱田辰雄教師 会は、七月一一~一二日、 吊議員より、「これを議案と 二〇人全常議員が出席して したのは、いかにも唐突で 阿部洋治教師の正教師登 第3総会期第二回常議員 冒頭、議事日程を巡り議

の兼ね合いで疑念を持つ」 いう反対意見が述べられ の審議が白熱し、全体に時 数で可決された。 た。採決の結果、修正案は少 数否決され、原案は賛成多 但し、この議案は他議案

一える意見に対して、竹前昇

た。これに対し、山北宣久 間的に間に合えば常議員提 議長は、「形式が整い、時 宮敬爾常議員は、「議事三五 げている」と答えたが、後 出議案は議題として取り上 間が足りなくなったため いとなった。

の質問・意見が述べられた。 に多くの項目について沢山 過去数回の常議員会と同様 事務局会計と出版局会計

議事日程修正案を提案し

を排除する」という主旨の

処理ではないかと疑義を唱 程された上、継続審議の扱 号以下の議案と共に一括上 に、二日目閉会間際に二六 との関係について、不正な 総幹事報告を巡っては、 た」と答えた。

を問う発言に対して、愛澤 ではない。二~三年で正常 れている教団年鑑を市販し 出版局も当然正しいと考え ていることについての見解 てこのような処理をしてき な会計処理が可能になる。 また、個人情報が掲載さ

ればならなかったが、不正 総幹事は、「諸事情があり、 変則的な処理をしてこなけ

共に変化している。それに 変更はあるのか、どのよう 発行続行も含めて委員会内 見合った編集をしなければ に対して、竹前総幹事は、 に変わるのか」という質問 『働く人』の意義が時代と 『働く人』の編集方針の

年鑑にのみ用いることをお る」と答えた。 断りする必要があると考え 問題がない。役員名は団体 は個人情報保護法に抵触し ある。記入調査の時点で、 の問題に該当する可能性が 報告なので掲載しても良 ないと考える。 うてきた。一方で、教会毎 これまでも本人の意向を問 い記す年度報告書は、指摘 また教師住所の掲載は 議員名簿は

一で激しい議論がある。今年 と述べた。

度発行するために編集委員

す重大であり、教団に連なる信徒・教職の祈りがここに集められることが期待される。

ては糸口が見えない状態が続いている。教団存亡の危機という声さえ聞く。常議員会の働きはますま

同のとらえなおし」を初めとする懸案事項は、容易に解決の道が得られる問題ではなく、事柄によっ

制度の改正案、更に新潟県中越地震、今常議員会では耳目を集める重要案件が重なった。

一方で、「合

セクシュアル・ハラスメント事件を巡っての教師委員会の対応、教憲第九条の改革について、年金

重要案件に

した議

査が指摘するような問題 ている。個々、議案で取り 木美知夫常議員は、「会計監 上げる」と答え、また、佐々 に述べられていると評価し

を選んでいる。その後につ ついても意見が述べられた のに対して、竹前総幹事は、 いては議論を見守りたい 「大変に重要なことが簡潔 会計監査からの要望書に

幹事報告が採決され、承認 在庫処理について、幹事の その事実が少しづつ明らか ついて質疑があった後、総 退職金について、兵庫教区 ったことではない。現在は とったことであり、今起と は、竹前総幹事就任前に起 いる」と見解を述べた。 センターの運営上の問題に になり、対応策が取られて その他『地震・教団』の





初日冒頭の総幹事報告で早くも議論白熱

現況を説明する三浦修関東教区議長 新潟県中越地震」覚える主日制定

関東教区も募金している 五千万円どうしても集めな 案し承認された。 う状況が明らかになってい 小橋孝一委員長は、「一億

報告」に関しては、山北宣 久議長が、「「新潟県中越地 教会会堂等再建支援委員会 も併せて審議することを提 える主日制定に関する件」 震」被災教会・被災地を覚

が、それぞれ勝手にしてい 毎月五教会を訪問している るのではなく、よく相談し 設計士・診断士に判定して ると混乱が生まれること、 こと、教会が個々に募金す し、募金の現状は厳しい」 合ということはない。 連絡しあっているので、競 ている。使途は明確であり、 三浦修関東教区議長は、 望を述べた。 援活動のためと目的を定め 会計処理について報告し、 会委員会で検討した募金の て募金した。関東教区から 「教区との話し合いで、救 小出望社会委員長は、

> る必要があることを指摘 明、移転の可能性を検討す 会敷地の液状化の状況を説

> > 違う。月間の方がコンサー

日 (10月23日) に近い主日

第3総会期において被災 議案原案は次の通り。

確信犯的な詐欺師でもない その人に信仰がなければ。

(05年10月23日、06年10月

み、自分の不信を誰かの前

限りは、魂の矛盾に苦し

が、それは献金の主旨とは を献げるという意味に取る

し、「土地の売買の資金手当

社

緯と要望を述べた。

飯塚拓也委員は、

教団に戻して欲しい」

一と経

数述べられた。根拠として、

『覚える日』だと礼拝献金

く、採決の結果、原案は可

ても、学問を修めていて

も

説教は出来ない。もし

にすべきだという意見が多

は、一主日ではなく、月間 制定に関する件」について 教会・被災地を覚える主日

もらい対応を考慮している

めた。救援活動は終了し、

のことなので、区切りで会 支援の段階になっていると 通して繰り入れることを認 残金の繰り入れの要望があ ったので、支援センターを 残金は と今後の見通しを述べた。 り入れを要請した」と経緯 る。そこで社会委員会に繰 は緊急を要する場合があ

> 意見が述べられた。 は一主日に限らない」 は他の募金が重なる、募金 げられた。また、「一〇月に 金できる」ということが上 トを開くなりして工夫し募

等の

主日とする。

被災教会・被災地を覚える 22日) を「新潟県中越地震」

小説の牧師は自分の家庭が

に告白したくなるだろう。

非常事態に遭遇した時、そ

佐々木美知夫常議員か

主日ではなく月間を制

教会会堂等再建支援委員会

言とこれへの信仰以外のも

ので補うことは出来ない。

は「新潟県中越地震」被災

この主日にともなう計画

の心が破綻し、崩壊してい く。▼教会の営みを、神の

委員会報告は、 『新潟県中越地震』 被災

(8)

月十日発行とします。 とし、四五八六号は九 四五八四·八五合併号 『教団新報』今号を 総幹事 竹前 昇

に生まれ、

の実在を信じ

師を職業に選

んだ男は、神

▼牧師の家系

(第三種郵便物認可)

1

2

3

(4)

5

対し五二00万円の繰出を

行った。作業部会、常任理

1

2

(3)

(4)

5

(6)

七月二三日、

常議員会は

栗津安和教師への『戒告』 規に関する事項」に質疑が 四件の報告の内「教師の戒 からと教師委員会の判断が ないか」、「係争中の案件だ について、「軽すぎるのでは 軽込昇教師委員長による 六月一六日に執行された

保留されたのはなぜか」、 ったのか」等の質問が出さ たが、被害者との面接はあ 加害牧師との面接はあっ 述べた。

面接を行った」との答弁が 渉になると判断した」、 理由により適わず、父親と 努めたが、当人の健康上の は、双方への荷担ないし干 件に対し先に判断を下すの ないこと」とした上で、 ラスメントはあってはなら ったこと」、「係争中の案 から、「セクシュアル・ハ 「被害者と接触をとるよう これに対し、軽込委員長 当該裁判が民事訴訟であ ・ハラスメントに関する学 ②常議員会でセクシュアル

の立場から「戒規とは神の とである。免職、除名とい 御前での悔い改めを目指す 潤常議員は、元教師委員長 なされた。 もの。戒告によって、教師 い」との見解を示し、高橋 った処分だけが戒規ではな 受けること自体が重大なこ 山北宣久議長は「戒規を の要望があった。 軽込委員長は現行の戒規

とを尊重したい」と意見を 委員会の決定が下されたこ され、 て述べ、それでも規則の中 議員会が今回の件を重く受 かった事情が説明され、 で戒規を執行せざるを得な 施行細則の不十分さについ 眞副議長のもとに採決がな け止めなければならないと 山北議長と交代した小林 議場は報告を承認し 常

戒規執行について説明する軽込昇教師委員長

件」の承認に先立ち、詳細

は、「予算決算委員会報告の

有澤禧年会計監査委員長

をした。B.「教団内の各

会計監

査 の

使

命

に 抜

本的取

組

み

のように見ているので、そる。少なくとも外の人はそ

れに耐えられるように整え

中間報告」を行い、第3総 な「教団会計監査実施要項

指摘し、予算決算委員会の

問題点となっていることを 統合を進めるために」、その センター会計決算の掌握と

計の統一化推進の検討を始 提起したい。D.全教区会

推進の意見が述べられた。

必要がある」など、改革案

区の財産を教団が把握する なくてはならない」、「各教

める。また、教区活動連帯

確認をしてはどうかと問題

特別財産の掌握と評価額の

答申に依れば「各センター

金について、約四000万

円の資金が動いているの

ているのではなく、独立法

教団の傘下に収めようとし

竹前昇総幹事は、「何でも

に、教団総会の報告書で表

協議会開催要望の議員提案否決

する謝罪、加害者や教会の

が示された。

その他、議案に関係して

めたいとの具体的な方向性 置及び処理制度の作成を進

ことを目標として、当面は 部監査を受ける法人になる

での経過処置として教団名 立時に宗教法人格を得るま い。C. 教会・伝道所の設

報告を受け、常議員から

意見を述べた。

牲を払っている」と補足と ために人と時間を割き、犠 現在教団は、各センターの 人になってもらえば良い。

上となっているので、教団 義で購入された資産が未計

全て議長の印鑑で動いてい は「教団は一法人であり、

件」では、「教団運営資金」に

「予算決算委員会報告の

ついて質問・意見が集まっ

基本方針では、いずれ外

織の確立を計ることを主

重要さを増した」ことを強

しい」、そのためにも監査協 は独立法人への移行が望ま

力から始めなければならな

検討する必要があると指摘

示されていない点について

で「会計監査の役割がより 会で大幅に改正されたこと

回復に向けての教団の対応

ある見解を公表し、教団内 る。「①教団議長による責任 諸教会・伝道所に表明する。 をする件」が提案された。 め、具体的に速やかな対応 トに対して、真摯に受け止 セクシュアル・ハラスメン ント裁判に現れた教会内の 「セクシュアル・ハラスメ 議案は次のとおりであ 土井しのぶ常議員より Ž, 防止ガイドラインが検討さ 委員会による「戒告」の戒 びのための協議会をおこな クシュアル・ハラスメント いては教師委員会作成のセ 年七月九日、第四五八二号) が「教団新報」(二〇〇五 規執行を受けて、議長談話 に掲載された。また②につ ①については、既に教師

(辻順子報) めを問い、また被害者に対 **松告を受けた教師の悔い改**

るとの認識が語られた。さ 策として、総幹事報告で触 らに教団のこれからの対応 とは、大変重大な処置であ と方向性を求めるというも れられているように、教団 て遺憾の意を表した。 のである。 宣久議長は、議長談話で申 訳ないと述べたが、 これらに対し最初に山北 また戒規としての「戒告」 改め み切ったことを評価する」、 議員会が責任的に関わり、 とが必要である」、「今回、 議論がなされ「教団が人権 教師委員会が戒規執行に踏 に関する共通認識を持つこ 「今後もこの件に関して常

課題に取り組む覚悟を披瀝

し、同時に理解・協力を呼

のものを監査する使命につ

教団の機構・組織・制度そ

総会で新たに加えられた な仕事とすること、また、

『業務監査』を視野に入れ、

いて述べ、長期的で困難な

として相談・苦情窓口の設 となった。 ど活発な意見が出された。 ションを続けて欲しい」な 九州教区とのコミュニケー 議案の採決が行われ否決

A.「教団三局の合同監査を は、以下の項目を上げた。 びかけた。 進めるために」、三局の合算 具体的な取り組みとして

予算決算委員会報告で答弁する飯塚拓也委員長

金についての質問があり、

また、未収金の整理に関連

して消費収支計算書の作成

する方針もある」と述べた。 教団運営資金の項目をなく

その他、幹事の退職引当

目を作った方が良い、ただ、し、「将来的に運営基金の項

え、運営資金の中味を説明

産評価についての質問に答 た。飯塚拓也委員長は、資

(松本のぞみ報) | 貸借対照表を作成する試み

者への配慮等、検討を要望 する意見が出された。

年金制度見直し再検討案提示

しては、戒規適用に関し、 れている。しかし提案者と

討もなお継続される。 検討が開始される。教団総 運用が行われていることを い危機打開策案は教区での 事会報告は承認され、新し ととは評価すべきとした。 千万円近くの運用益がある 説明。この厳しい条件で四 団年金は最もリスクの低い 益についての質問には、教 決算、「支える運動」、理 また決算に関し資産運用

7











9

(10)

委員会報告、戒告の意義を巡り賛否

教師委員会から報告を受け

報

年金制度存続を訴える小林貞夫局長

年金勘定四億九九六二万円 の収支決算が報告された。 報告が行われた。年金局〇 献金が寄せられ、年金局に 額を越えて六七五二万円の える運動」には、年度計画 金勘定一〇九七万円、退職 四年度決算報告では、謝恩 運動」報告、年金局理事会 算報告、「隠退教師を支える 年金に関連して年金局決 〇四年度「隠退教師を支

制度枠外の抜本的改革」、 計画どおり執行した。 てきたが、合わせて「現行 の改革」を主として検討し 択肢として「現行制度内で てきたことが報告された。 機打開案」否決を受けて、 教団総会での「教団年金危 年金制度見直しを再検討し 「解散」についても検討を 理事会は、年金改革の選 理事会報告では、第3回 開催された全体理事会に 事会の検討を経て、六月に

始年齢を六五才から七二才 出してゆく必要を訴えてき をこと十年以上に亘って捻 金局は、年間一億五千万円 れも〇七年度から実施。年 値を二分の一とする。いず 団総会に提案した献金目標 案が提案された。 は、以下を主な内容とする に引き上げる。②第3回教 ①退職年金満額給付の開

は、年齢算出基準、規則と 障の制度へと抜本改革すべ 掛け続けるという善意でこ 支給年齢を過ぎても掛金を 方、教団年金を最低生活保 支持する意見が出された一 れまで支えられてきた部分 より年六千万円の給付節減 たが、給付年齢引き上げに 二才という年限について は大きいことを強調した。 が制度的に担保されること が十数年後に可能となる。 しとの意見も出された。七 これに対し、年金局案を

接に関わっているという認

教 震第九 条検討作業委員会

九条を検討する件が扱わ おける教会論、教師論を確 討作業委員会報告がなされ れ、中間報告のかたちで検 た。藤掛順一委員会書記は、 立していくという課題と密 一種教職制の問題は教団に 二日目の最後に、教憲第 告した。具体的な問題とし 具体的な問題に整理して報 識のもと、基本的な問題と 験者の学びの指針、合否判 補を設けることを想定した ては、神学校間における教 定の基準の問題、また教師 育内容の相違、Cコース受

の取り組みは困難であると たが、今後第九条の変更へ の判断が示された。

て採決により承認された。

「報告」は、監査も含め

さまざまな意見・要望が述 をすべきだという提案など

べられた。

る議論があった。 格や課題、今後の方向を巡 考える議論や、委員会の性 か、中間報告をどう受けと られた課題が何であった そも検討作業委員会に委ね めるかなど、歴史を遡って この報告に対して、そも















場合の問題などがあげられ

(藤盛勇紀報)

教

(1)2

(3)

(4)

5

 $(\mathbf{6})$

2

3

社会活動基本方針」で発題、

議論

社会委員

会

をもって委員会が始められ 教団会議室において、礼拝 去る六月二七日、二八日、 礼拝は前総会期から踏 一五節から、忘れ去られて

がマルコ福音書一章一四、 襲されている。上地武委員 のとおりである。 きかけに学びたい、と奨励。 いる地域への主イエスの働 主な協議・決定事項は下記 、日本キリスト教社会

発題と議論で課題への理解を深める社会委員会 の後を平井章氏(十字の園 総会で役員改選があり藤田 社事同から推薦されている 小森宏委員が発題。 長)が就き、小森宏総幹事 稻松義人氏(小羊学園理事 基理事長が退き新理事長に 六月一六、一七日の一泊

り、教会との連携、クリス の意味が新しく問われてお がなされた。国の社会福祉 ければならない、と結ばれ の社会事業となっていかな リスト教精神の実践として チャン・ワーカーの養成が 義、利益誘導ではなく、キ 課題となっている。商業主 化し、キリスト教社会事業 政策が措置から契約へと変 |将来構想| について紹介 検討が続けられてきた ザーバレー日系人合同教会 赴任する。一九九三年に就 が、六月九日教団会議室で、 執り行われた。 委員会書記の説教により、 委員長の司式、木下宣世同 大宮溥世界宣教協力委員会 に二〇〇五年七月一日付で 木原氏は、カナダ・バン 木原葉子宣教師派遣式 バーの郊外にあるフレ

事業同盟(以下、社事同) の「実情と展望」を学ぶ。 針に関して。かつての「再 た。課題を共有したい。 際してなされた一九六六年 いての常議員会決議があい 検討」議論と、その終結に 「基本方針」取り扱いにつ 教団社会活動基本方

模索している。張田眞委員 が発題、議論の土台を探っ まいであり、当該委員会と しては前総会期より方針を

難波幸矢委員が発題、理解 会議」に関わってこられた 憲国家賠償訴訟」と「検証 を深めた。 題の最新状況について。「違 四、救援募金等について。一の募金が寄せられたが、未 三、ハンセン病を巡る問

三宅島関連、アフリカ救援、 県中越地震救援金も〇五年 終結することとした。新潟 風被害、台湾台風被害)を 潟中越地震、二〇〇四年台 十勝沖地震、新潟豪雨、新 金(アフガン難民、イラク、 継続されるが、他の救援募 三月末現在四三00万円余 インド洋大津波被災救援が イラン大地震、三陸南地震、 となどが話し合われた。 地問題を取り上げて学ぶこ 会での太陽光発電設置奨励 再建募金へと移る。 本法をめぐる問題と沖縄基 の可能性や、憲法と教育基 ・環境・原発問題に鑑み教 五、その他、エネルギ

取り組みが始められた会堂 終結する。今後は、教団で 送金分を関東教区に渡して

藤井厚之氏(水沢教会牧師)

消息

(7)

(8)

8

(7)

9

10

(10)

上尾合同

紅葉坂 辞(担)松谷好明 就(主)松谷好明 辞(担)森田喜基 辞(主)内田武士

新保能宏(二〇〇五・

五·九受允)

"

信、金澤正善、

西川專一、平林孝裕、 **澁谷弘祐、高山聖子、**

ニッ本武仁、森岡高康

(二)〇〇五•五•二三受允)

板橋大山 辞(担)秋葉睦子 ベルリン日本語教会 シカモア組合教会 就(外)秋葉睦子 就(外)森田喜基

東美 高知中村 四万十市中村 所在地変更 就(担)金子敏明

鷹巣 北秋田市東横町 十の五

朝来 朝来市新井

| 与勝 うるま市勝連内間六 平良川 うるま市喜屋武 石川うるま市石川四三二

五•二三受按)

森口あおい(二〇〇五・

山本一、佐野昌弘、

相模原 辞(担)西田恵一郎 就(教)西田恵一郎 辞(担)藤井理亜 就(代)飯塚拓也 大曲 三重 豊後大野市三重町 大仙市大曲栄町 九六の一

犬飼 豊後大野市犬飼町 市場一一六〇

近永 愛媛県北宇和郡 犬飼八の三

木造 つがる市木造 鬼北町近永一五七九

就(教)山崎ハコネ

千代町六四

敬和学園高校

就(教)相浦めぐみ

のもとに「教団信仰告白小委員会」 学び、検討し、深めていくために なった教団信仰告白をあらためて が設置されました。制定五〇年に この七月に奥羽教区常置委員会

提出されました。その要望書は、 地区から一名と教区副議長の五名 設けられたのです。小委員会は各 ついて」の要望書が常置委員会に で構成されています。 教団第二信仰告白の制定準備に 数年前に、北西地区教師会から 沖縄キリスト教団との合同のとら

(3)

(1)

2

(3)

4

5

(6)

7

(奥羽教区総会副議長)

る伝道の最前線に遣わされ

奥 羽 小委員会設置信仰告白を検討する 渡辺正男

2005年8月13日

様な意見があるのです。 ます。とくに贖罪論については多 教区

問題点」と「説明的文書」からな っています(「福音と世界」誌2 ついて常置委員会だけでなく、教 「日本基督教団信仰告白の評価と 02年10月号参照)。その内容に

常置委員会は、多様な意見を受 立して、ときに激 ました。意見が対 会に協議されてき 論が交わされてい ーなどいろんな機 凶教師宣教セミナ 仰告白の普遍性と状況性を検討す その内容的検討が求められている す。明日の教団のために、教団信 の関わりにおける状況性をもちま と言えないでしょうか。信仰告白 るのは、制定五〇年となった今日 は、聖書に基づく普遍性と状況と 白制定五〇周年」を掲げましたが

の度の小委員会を設けたのです。 なっていることを受け止めて、こ 昨年の教団総会は「教団信仰告

け止めて、さらに「日本基督教団と まさにその時ではないか、

えなおしと実質化」において現行 信仰告白の再検討が教団の課題と

ミュニケーションによる心 と体の癒しが注目されてい で紹介され、母国語でのコ 応してほしい、という日系 この状況は近年世界の各地 人の一般的な状況がある。

同教会は、教会員の高齢化 節」に基づいて「地の果て い滞在者が少ないなどの課 に加えて、日本からの新し 使徒言行録一章六~一一 派遣式では、木下書記が バレー日系人合

に至るまで」と説かれてい

日系人合同教会 カナダ・宣教師派遣

式

ダ・フレーザーバレー日系

八合同教会木原葉子宣教師

宣教師の希望により「カナ

野田千尋氏(無任所教師)

報告された。後援会は木原

活動が開始されたことが、

水沢教会牧師を務めた。遺

止教師登録

族は妻の友紀さん。

宇佐美睦朗、沖村裕史

(二〇〇五・五・九受按)

(張田眞報)

大学院修了後、倉敷教会に

松井初、村主政彦 荒井眞理、西川幸作、

(二〇〇五・五・三一受允)

新町三の十三

九九五年同志社大学神学部

赴任。その後、九九年から

歳。京都府に生まれる。

五月二一日、逝去。三四

中西 碧(二)〇〇五・

五·三十受允)

北川善也、吉岡喜人、

を支える会」と称すること

になった。

的かつ財政的に支えるだけ

歳。福岡県に生まれる。一九

青山学院中等部

舟二八日、逝去。七八

後接会は、宣教師を精神

任である。

フレザー

理事長)が引き継ぐ。

同教会は、日系一世、二世 任した大下秀三宣教師の後 ていても、心の問題や宗教 礼拝、聖餐、交わりなどが 出席も難しくなり、出張の の高齢化を迎えている。高 齢の一世、二世は礼拝への 大切な働きとなっている。 に関わることは日本語で対 日常的には英語で生活し バレー日系人合 | る木原宣教師に、 主イエス 語った。 が力を与えてくださると、 の証人になるために、聖霊 派遣式後にもたれた茶話

の活動や、母校の女子学院 多数語られ、同宣教師の幅 徒とのエピソード、などが で教鞭をとっていた時の生 会では、同宣教師の教団で 広い経歴が紹介された。 さらに後援会が発足し、 でなく、カナダ合同教会と

せ、 待されている。 を側面から助けることが期 教団とのパートナーシップ

動や経歴が生かされ、働き が祝されるよう祈りを合わ 同宣教師のこれまでの活 会を閉じた。

で福岡中部教会を牧会し

院教会、大牟田正山町教会

を経て、七一から七五年ま

後、福岡中部教会、福岡女学 修了後、曙教会に赴任。その 五六年東京神学大学大学院

新潟愛泉辞(主)山崎ハコネ

辞(担)相浦めぐみ

木原葉子宣教師、カナダの日系人教会へ派遣 伊集院虎雄氏(無任所教師)

就(代)ロバート・

ウィットマー

「下里綾子(二〇〇五・五・一

四五八二号『補教師登録』

五受允)」とあるのは、「下里

辞(担)千原 創

お詫びと訂正

辞(主)畑うらら

事。遺族は妻の和子さん。 社を定年退職の後、一九九 歳。長崎県に生まれる。 代々木教会、清水教会、富 〇年東京神学大学卒業。 士見町教会等で伝道に従 六月二七日、逝去。九一 会 北千住 秋田飯島 辞(代)雲然俊美 松山城南高校 西東京教区就(教)千原 創 ″

辞(代)秋山千四郎

東京教区北支区

支区長 亀岡 顕

辞(主)宮村重徳

就(教)畑うらら

〇〇五・五・一受允)」の誤り 綾子、北村裕樹、朴貞蓮(二

につき、お詫びし訂正致し

就(主)伊藤大輔

ます。

就(主)西山 禎

伸教師登録

8

10

辞(主)加藤英徳 | き、お詫びして訂正致しま

就(担)川崎 恵 就(主)丸田久子

るのは、「名塚」の誤りにつ

「五泉辞(主)長塚和義」とあ 四五八三号『教師異動』 り余っている三児の子育てに、は

謝しています。

られていることを感 ての働きの場を与え

一階に住んでいた時は、元気があ

りはらすることもありました。

にこともありました

(幸い右腕の

育の働きのほかに、

会でのキリスト教教

前任教会では、教

歳半の息子が二階から転落し

折だけですみました)。

不犀の香り漂う牧師館

この秋までと古木見上ぐる 「「信徒の友」短歌入選歌)

分区や教区のキャン

ていただきました。 委員を十年近くさせ 教区や分区の教育部

②前の秋に牧師館の庭に佇んで詠

て、若い人たちとの プに欠かさず参加し

1

2

3

4

5

(6)

7

2 - 0544

聖日を憶える意味は大きいので

平和は平和運動というかたちを

九年間住み慣れた前任教会を去

のりましたが、礼拝堂や集会室の

教会と牧師館が離れている所も

スト教教育主事とし

ことになります。

今年はちょうど四○年、六教会六

牧師のパートナーとなってから

つの牧師館に住ませていただいた

聘していただいて、

現在は鴻巣教会キリ

教教育主事として招 とき、私もキリスト を過ごしております。

牧師が教会から招いていただく

土の深いみ旨と思い感謝して日々

に牧師館の住人であることは、

教

1

2

3

(4)

5

6

7

(8)

9

(10)

暮らしています。 キリスト教教育主事として

定されました。以来、キリスト教 ことを覚え、そこに使命があるこ ての日々を歩んで参りました。 とを思い、牧師のパートナーとし 教育主事として、主から召された からキリスト教教育主事として認 私は一九六三年に日本基督教団 かを共に考えています。 んにどうやって寄り添っていける

牧師のパートナ として 40年

ります。亡き父が牧していた宮崎

の一室であったと母から聞いてお

この世に生を受けたのが牧師館

牧師館に住んで

県・飫肥教会の牧師館でした。

それから数えて六○有余年、未

節子 篠原 (鴻巣教会キリスト教教育主事)

たいと心から願っています。 え給うゴールを目指して、支え合 加していましたが、今回はパー で開かれます。二年に一度開かれ 心健やかに-」のように、主が備 この会のテーマ「共に歩む幸い るこの会に、ときどき私一人で参 ナーと二人で参加する予定です。 つつ、地上の歩みを続けていき



幼稚園の合同礼拝や保護者の集合 同礼拝)に係わっていくと共に、 にも参与させてもらっています。 交わりの時を楽しんできました。 (聖書と賛美の会、PTA活動) (教会学校、子どもとおとなの合 現在は教会の教育的プログラム 地区内の教会から親子礼拝に招

は一階に一つです。教会、幼稚園、

ことを、日々実感しながら楽しく 牧師館の三つが一つの家族である 師館が向き合う位置にあり、玄関

階が幼稚園、二階に礼拝堂と牧

今住んでいる六つ目の牧師館は

んだ短歌です。

病いや死と向きあっている患者さ を目指している若い人たちと共に つ機会を与えられました。看護師 学校で「患者の心理」の講座を持 談する時も予定されています。 かれてメッセージをお伝えし、 今年の一月から、近くの准看護

共に歩む幸い

第一五回全国牧師夫人の会が松山 100五年八月二三~二五日

隠退教師を支える運動



推進委員会を開催

それに教団総幹事竹前昇 教区と東京各支区の推進委 会を開催した。出席者は各 、年金局理事長小林貞夫 員及び事務担当の二八名。 より「霊の賜物」(第一コリ し題する説教があった。 く、同業務室長青地恵氏の ト・一二章 | ~ | 一節) 一名にも陪席を得て、 去る六月一五日~一六 多田信一委員長、小林年 開会礼拝で、竹前総幹事 教団会議室にて標記の 弇 参考になる報告があった。 後、閉会祈祷を以って終了 の大切さなども話し合った りつつ推進に励むこと、ま 教会七〇%」を目指して祈 された。目標である「参加 与えられていることも報告 にとっても、新しい課題が する件」が否決されて以降、 で「教団年金危機打開に関 げることと推進運動の継承 た運動の裾野を少しでも広 「隠退教師を支える運動」 しかし、昨年の教団総会

一名であった。

(多田信一報)

お知らせ

告、決算報告などを承認し

金局理事長の挨拶に続い

て、二〇〇四年度の事業報

り「教団年金の現状」につい

★宣教師公募

たあと、年金局業務室長よ

ゆる集会に出かけて行って 聞きたいから来て欲しい」 区や支区、地区などのあら 励んでいる委員、或いは教 動報告を聞いた。例えば教 ある教区委員からは「話を アピールをしている委員。 | 寧に説明して推進活動に 区内の諸教会を訪問して、 てその厳しさを認識した。 て詳しい説明を聞き、改め その後各推進委員から活 力委員会(603-320 ら二七歳/締め切り=九月 ュネラー・スクール/任期 ジョアン・ルドウィグ・シ 任地=レバノン/ベッカ/ 長なし/条件=教団正教師 ン日本語教会/任期=二〇 任地=ドイツ・ケルン・ボ ─六ヶ月/条件─一八歳か 他/締め切り=一二月末 ★EMSボランティア公募 ・ケルン市在住・独語力要 〇六年七月から五年間・延

ら語る。 うである。ところが、教会では 成功したい!」と思っていたそ 勤命令があり、その教会を離れ わりを経験した。そしてここに ようになり、多くの出会いと交 め諸集会、諸活動へと参加する ら暖かく迎えられ、礼拝をはじ 彼女自身の思いとは別に、皆か 菱調剤の枚数を増やして仕事に 勤めている薬局を宣伝し、処方 彼女は「教会の人たちに自分の 初に訪れたのは遠州栄光教会、 でした」と梅原さんは笑いなが かしい場所に帰って来たと思う た薬剤師になって梅原さんが最 ようになっていった。 平来の自分の

居場所がある、 「教会に行ったのは、野心から hhadlikehdadilbeddhedlikedde 小さい頃からの夢だっ

ている、どこ

に行っても、教会

にイエス様が

:自分の居場所を用

意されていた。梅原さんの「野

彼女の理想としていた職場が用

そこに思いを遥かに超えて

いつも自分の居場所が用意され

またそこでも暖かく迎えられる 時、転勤先の近くの教会を訪れ、

けて話し合い、人格的関わりを

もって仕事をする場が与えられ

化に疲れを覚えていた。そんな り返される転勤と人間関係の変 処方箋を処理する仕事、度々繰

受けた。新しい職場では患者の

へたちと向き合って、 時間をか

に戻り、遠州栄光教会で洗礼を

た。転勤後、

梅原さんは大量の

新しい薬局の仕事を紹介された

った遠州栄光教会の教会員から

のだ。梅原さんはもう一度浜松

なければならなくなってしまっ

経験をした。

そして、教会には

かされた。やがてその思いは「自

い、「御心」の内に変えられた。

はイエス・キリストと出会

「神は、神を愛する者たち、す

意していてくださることに気付

分の生涯を救い主イエス様に委

ねていとう」

との決心へと導か

なわち、ご計画に従って召され

た者たちと共に働いて、万事を

れていった。 な出来事が起とった。最初に通 その決心と

相前後して不思議

梅原絵里子さん

「野心」から「御心」へ



1976年京都生まれ。 三ケ日調剤 -薬局長、遠州栄光教会員 センタ

す。

と深さを味わされます。 年ということもあってさらに重み 平和聖日はこの年、敗戦六〇周

平和は私たち

する勢いがあり、教 ではありません。憲法九条の改悪 を軸とした平和憲法を破棄せんと ただ時間的節目ということだけ さねばなりません。 たちを守っていることに思いを致 思われがちですが、実は平和が私 「あらゆる人 知を超える神の平

拝や過去の歴史理解の低さによる 侵害、さらには首相の靖国神社参 の丸・君が代の強制による自由の る不信感等々、平和に生きること 中国・韓国から投げかけられてい 育基本法の改悪や日 を妨げる問題性の中にあって平和 平和聖日メッ しょう」。(フィリピ四章七節) 和が、あなたがたの心と考えとを キリスト・イエスによって守るで 面する平和を妨げる課題に向か い、取り組むこと 神の平和に支えられてこそ、当 セージ しができるのです。

が守るべきものに ものではありません。 動というスタイルだけを意味する とったとしても抵抗運動、反対運 一人一人が神の平和によって心

hadillinindedillinindihadillinindihadillinindeadillinindeadillinindihadillininde

を、わたしたちは知っている」。

益となるようにして下さること

とに自覚を旺盛にして行きましょ 運動に携わっていくことになるこ べと遣わされていくことは、平和べと遣わされていくことは、、伝道 出すわざへと召されていくので

と考えを守られて、平和をつくり

二〇〇五年八月七日 日本基督教団総会議長 山北宣久

8

(10)